



平成 26 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 トーソー株式会社
代表者名 代表取締役社長 大槻 保人
(コード番号 : 5956)
問合せ先 取締役管理本部長 森兼 康博
(TEL 03-3552-1211)

(訂正・数値データ訂正)

「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 [日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 2 月 3 日付けにて「債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」を公表いたしました。これに基づき平成 26 年 1 月 31 日付けにて開示いたしました「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 [日本基準] (連結)」の一部訂正を行いましたので、お知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に上るため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線「 」を付して表示しております。

記

1. 訂正理由

平成 26 年 2 月 3 日に公表いたしました「債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」のとおり、当社の取引先である株式会社タナハシが、平成 26 年 1 月 31 日付で破産手続開始の申立を行う見通しとなったことに伴い、同社に対する債権を全額引当処理することとし、平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信を修正するものであります。

2. 訂正箇所

訂正後の「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 [日本基準] (連結)」につきまして、訂正箇所には下線「 」を付して表示しております。

以 上



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日

上場会社名 トーソー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5956 URL http://www.toso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大槻 保人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 前川 圭二 TEL 03-3552-1211
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,038	5.8	544	△11.0	529	△11.0	99	△64.8
25年3月期第3四半期	16,097	3.9	611	△3.1	594	4.4	283	9.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 365百万円 (12.5%) 25年3月期第3四半期 411百万円 (76.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	9.58	—
25年3月期第3四半期	27.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	20,256	10,047	49.5	953.51
25年3月期	20,140	9,735	48.2	933.09

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 10,017百万円 25年3月期 9,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,400	4.7	1,250	41.9	1,150	33.4	270	△34.2	26.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

【訂正後】

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	11,897,600株	25年3月期	11,897,600株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,392,053株	25年3月期	1,494,201株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	10,413,565株	25年3月期3Q	10,403,417株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済対策や日銀の金融緩和政策により景気は緩やかに回復しつつあるものの、円安進行による原材料価格の上昇や新興国経済の減速等といった世界経済の下振れリスクなどから、実体経済への影響は限定的なものにとどまっております。一方で、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したこと等、明るい材料もみられ、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されております。

当社グループの業績に大きく影響する新設住宅着工戸数は、住宅関連の景気刺激策により緩やかな回復基調が続く中、金利の先高感や消費増税を前にした駆け込み需要などの影響もあり、前年同期を上回る水準にて推移しました。

このような環境の下で、当社グループは競争力強化に向けた継続的な新製品の投入や、展示会などを活用した積極的な営業活動を展開した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,038百万円（前年同期比5.8%増加）となりました。利益につきましては、営業利益が544百万円（前年同期比11.0%減少）、経常利益が529百万円（前年同期比11.0%減少）となり、四半期純利益につきましては、株式会社タナハシが平成26年1月31日付で破産手続開始の申立を行う見通しとなったことに伴い、同社に対する債権について取立不能又は取立遅延のおそれが生じたことによる貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したため99百万円（前年同期比64.8%減少）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(室内装飾関連事業)

室内装飾関連事業の売上高は16,792百万円（前年同期比6.1%増加）、セグメント利益は542百万円（前年同期比8.1%減少）となりました。

売上高は、新製品の早期浸透を目指した展示会開催や積極的な新規開拓活動を推進したことなどにより前年同期を上回りました。主力のカーテンレールでは近時のインテリアトレンドを取り入れたデザイン性の高い装飾性カーテンレール「フィットアーキ」を発売しました。また、ブラインド類ではビンテージ感とナチュラルさを兼ね備えた木製ブラインド「ベネウッドアイデア」を発売したほか、ハニカムスクリーン「エコシア」や屋外用ロールスクリーン「マイテックアウトター」など、省エネ需要に対応した製品のラインナップを強化しました。

中長期で注力している海外市場への販売では、欧州経済の低迷や中国を中心とする新興国の経済成長減速なども影響して低調に推移しました。

セグメント利益は、為替の影響による売上原価の上昇に加え、配送費の増加やシステム関連費用の増加、また、貸倒実績率の変動による貸倒引当金繰入額の増加などの影響もあり減益となりました。

(その他)

その他の事業の売上高は246百万円（前年同期比9.0%減少）、セグメント利益は1百万円の利益（前年同期比93.6%減少）となりました。

ステッキを中心とした介護関連用品の販売が低調に推移したことに加え、販売費及び一般管理費の増加なども影響した結果、売上高、セグメント利益ともに前年同期を大幅に下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、受取手形及び売掛金等の減少があったものの電子記録債権や商品及び製品、原材料及び貯蔵品等の増加により、前連結会計年度末と比較して115百万円(0.6%)増加し、20,256百万円となりました。

負債については、未払費用および未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比較して196百万円(1.9%)減少し10,208百万円となりました。

純資産については、その他の包括利益累計額の増加等により前連結会計年度末と比較して311百万円(3.2%)増加し10,047百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月3日付「債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」で公表いたしました当社の取引先である株式会社タナハシが平成26年1月31日付で破産手続開始の申立を行う見通しとなったことに伴い、平成25年12月11日付「希望退職者募集に伴う特別損失発生の見込み並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から、通期の売上高234億円（前回予想比0.4%減）、営業利益1,250百万円（前回予想比3.8%減）、経常利益1,150百万円（前回予想比4.2%減）、当期純利益270百万円（前回予想比42.6%減）と、それぞれ変更しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

I A S 第19号「従業員給付」（平成23年6月16日改訂）が、平成25年1月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間より、一部の在外子会社において当該会計基準を適用し、数理計算上の差異等の認識方法の変更を行っております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、その他の包括利益累計額は40百万円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,054,026	3,025,902
受取手形及び売掛金	8,355,831	7,529,828
電子記録債権	384,021	676,598
商品及び製品	1,233,105	1,471,386
仕掛品	247,281	251,875
原材料及び貯蔵品	1,919,303	2,108,438
繰延税金資産	164,462	47,479
その他	550,040	819,638
貸倒引当金	△7,111	△73,397
流動資産合計	15,900,960	15,857,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,743,448	4,857,454
減価償却累計額	△3,920,781	△4,002,383
建物及び構築物 (純額)	822,667	855,070
機械装置及び運搬具	3,342,615	3,477,640
減価償却累計額	△2,767,193	△2,923,450
機械装置及び運搬具 (純額)	575,422	554,189
工具、器具及び備品	4,301,832	4,398,042
減価償却累計額	△4,129,695	△4,214,776
工具、器具及び備品 (純額)	172,137	183,266
土地	1,247,215	1,251,601
リース資産	686,869	712,791
減価償却累計額	△276,059	△349,779
リース資産 (純額)	410,810	363,011
建設仮勘定	48,774	40,569
有形固定資産合計	3,277,026	3,247,709
無形固定資産	151,687	140,567
投資その他の資産		
投資有価証券	410,284	526,937
長期貸付金	874	679
繰延税金資産	111,579	192,180
その他	289,122	527,270
貸倒引当金	△911	△236,931
投資その他の資産合計	810,948	1,010,138
固定資産合計	4,239,663	4,398,414
資産合計	20,140,623	20,256,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,459,357	2,458,458
短期借入金	1,429,355	1,651,249
1年内返済予定の長期借入金	596,132	734,736
1年内償還予定の社債	970,000	170,000
リース債務	136,485	139,443
未払金	883,799	810,897
未払費用	534,988	449,950
未払法人税等	379,025	73,781
資産除去債務	727	744
その他	73,575	124,630
流動負債合計	7,463,447	6,613,892
固定負債		
社債	260,000	175,000
長期借入金	1,339,503	2,116,700
長期リース債務	286,214	233,738
退職給付引当金	605,211	599,346
役員退職慰労引当金	225,625	229,094
資産除去債務	114,406	116,016
その他	110,280	124,648
固定負債合計	2,941,241	3,594,545
負債合計	10,404,688	10,208,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,170,000	1,170,000
資本剰余金	1,370,402	1,391,120
利益剰余金	7,460,860	7,456,576
自己株式	△428,022	△398,788
株主資本合計	9,573,240	9,618,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,124	165,669
繰延ヘッジ損益	218,458	346,423
為替換算調整勘定	△146,070	△52,385
在外子会社の退職給付債務調整額	△51,442	△61,422
その他の包括利益累計額合計	134,069	398,284
少数株主持分	28,624	30,533
純資産合計	9,735,934	10,047,727
負債純資産合計	20,140,623	20,256,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
売上高	16,097,411	17,038,776
売上原価	9,138,862	9,891,261
売上総利益	6,958,548	7,147,514
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,245,946	1,350,228
広告宣伝費	402,192	373,466
販売促進費	348,028	333,138
貸倒引当金繰入額	—	70,884
役員報酬	89,542	91,828
従業員給料及び手当	1,777,006	1,811,752
従業員賞与	436,184	434,810
退職給付費用	95,883	67,262
役員退職慰労引当金繰入額	17,600	16,268
福利厚生費	473,666	480,303
減価償却費	186,999	201,230
賃借料	275,009	290,660
旅費及び交通費	287,936	296,634
研究開発費	30,922	30,195
その他	680,039	754,726
販売費及び一般管理費合計	6,346,957	6,603,391
営業利益	611,591	544,123
営業外収益		
受取利息	2,207	2,822
受取配当金	8,781	9,571
仕入割引	6,338	6,048
書籍販売収入	8,844	5,391
スクラップ売却益	10,906	14,669
為替差益	10,971	19,149
その他	24,215	11,758
営業外収益合計	72,264	69,411
営業外費用		
支払利息	30,479	44,556
社債利息	18,963	6,157
売上割引	8,672	8,920
書籍販売原価	20,911	17,646
その他	9,998	6,708
営業外費用合計	89,025	83,989
経常利益	594,830	529,545

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1,843	515
特別利益合計	1,843	515
特別損失		
固定資産売却損	1,704	123
固定資産除却損	3,096	662
減損損失	19,896	2,086
貸倒引当金繰入額	—	232,658
特別損失合計	24,697	235,531
税金等調整前四半期純利益	571,975	294,530
法人税、住民税及び事業税	272,697	238,292
法人税等調整額	16,260	△43,406
法人税等合計	288,958	194,885
少数株主損益調整前四半期純利益	283,017	99,644
少数株主損失 (△)	△62	△105
四半期純利益	283,080	99,749

(四半期連結包括利益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	283,017	<u>99,644</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,371	52,545
繰延ヘッジ損益	119,891	127,965
為替換算調整勘定	3,510	95,888
在外子会社の退職給付債務調整額	<u>△8,302</u>	<u>△10,170</u>
その他の包括利益合計	<u>128,471</u>	<u>266,229</u>
四半期包括利益	<u>411,488</u>	<u>365,873</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	411,568	<u>363,965</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△79	1,908

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年11月13日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年12月2日までに、第三者割当による自己株式の処分を行いました。この自己株式の処分並びに単元未満株式の買取りにより当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が20,718千円増加、自己株式が29,233千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,391,120千円、自己株式が398,788千円となりました。



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日

上場会社名 トーソー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5956 URL http://www.toso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大槻 保人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 前川 圭二 TEL 03-3552-1211
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,038	5.8	533	△12.8	518	△12.7	236	△16.3
25年3月期第3四半期	16,097	3.9	611	△3.1	594	4.4	283	9.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 503百万円 (22.3%) 25年3月期第3四半期 411百万円 (76.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	22.76	—
25年3月期第3四半期	27.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	20,372	10,184	49.8	966.58
25年3月期	20,140	9,735	48.2	933.09

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 10,154百万円 25年3月期 9,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	5.1	1,300	47.5	1,200	39.2	470	14.6	45.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

【訂正前】

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	11,897,600株	25年3月期	11,897,600株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,392,053株	25年3月期	1,494,201株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	10,413,565株	25年3月期3Q	10,403,417株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済対策や日銀の金融緩和政策により景気は緩やかに回復しつつあるものの、円安進行による原材料価格の上昇や新興国経済の減速等といった世界経済の下振れリスクなどから、実体経済への影響は限定的なものにとどまっております。一方で、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したこと等、明るい材料もみられ、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されております。

当社グループの業績に大きく影響する新設住宅着工戸数は、住宅関連の景気刺激策により緩やかな回復基調が続く中、金利の先高感や消費増税を前にした駆け込み需要などの影響もあり、前年同期を上回る水準にて推移しました。

このような環境の下で、当社グループは競争力強化に向けた継続的な新製品の投入や、展示会などを活用した積極的な営業活動を展開した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,038百万円（前年同期比5.8%増加）となりました。利益につきましては、営業利益が533百万円（前年同期比12.8%減少）、経常利益が518百万円（前年同期比12.7%減少）、四半期純利益が236百万円（前年同期比16.3%減少）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(室内装飾関連事業)

室内装飾関連事業の売上高は16,792百万円（前年同期比6.1%増加）、セグメント利益は532百万円（前年同期比9.9%減少）となりました。

売上高は、新製品の早期浸透を目指した展示会開催や積極的な新規開拓活動を推進したことなどにより前年同期を上回りました。主力のカーテンレールでは近時のインテリアトレンドを取り入れたデザイン性の高い装飾性カーテンレール「フィットアーキ」を発売しました。また、ブラインド類ではビンテージ感とナチュラルさを兼ね備えた木製ブラインド「ベネウッドアイデア」を発売したほか、ハニカムスクリーン「エコシア」や屋外用ロールスクリーン「マイテックアウター」など、省エネ需要に対応した製品のラインナップを強化しました。

中長期で注力している海外市場への販売では、欧州経済の低迷や中国を中心とする新興国の経済成長減速なども影響して低調に推移しました。

セグメント利益は、為替の影響による売上原価の上昇に加え、配送費の増加やシステム関連費用の増加、また、貸倒引当金繰入額の計上などの影響もあり減益となりました。

(その他)

その他の事業の売上高は246百万円（前年同期比9.0%減少）、セグメント利益は1百万円の利益（前年同期比93.5%減少）となりました。

ステッキを中心とした介護関連用品の販売が低調に推移したことに加え、販売費及び一般管理費の増加なども影響した結果、売上高、セグメント利益ともに前年同期を大幅に下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、受取手形及び売掛金等の減少があったものの電子記録債権や商品及び製品、原材料及び貯蔵品等の増加により、前連結会計年度末と比較して231百万円(1.1%)増加し、20,372百万円となりました。

負債については、未払費用および未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比較して217百万円(2.1%)減少し10,187百万円となりました。

純資産については、利益剰余金、その他の包括利益累計額の増加等により前連結会計年度末と比較して449百万円(4.6%)増加し10,184百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月8日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成25年12月11日付「希望退職者募集に伴う特別損失発生の見込み並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

I A S 第19号「従業員給付」（平成23年6月16日改訂）が、平成25年1月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間より、一部の在外子会社において当該会計基準を適用し、数理計算上の差異等の認識方法の変更を行っております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、その他の包括利益累計額は40百万円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,054,026	3,025,902
受取手形及び売掛金	8,355,831	7,647,520
電子記録債権	384,021	676,598
商品及び製品	1,233,105	1,586,353
仕掛品	247,281	251,875
原材料及び貯蔵品	1,919,303	2,108,438
繰延税金資産	164,462	24,474
その他	550,040	824,002
貸倒引当金	△7,111	△83,943
流動資産合計	15,900,960	16,061,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,743,448	4,857,454
減価償却累計額	△3,920,781	△4,002,383
建物及び構築物（純額）	822,667	855,070
機械装置及び運搬具	3,342,615	3,477,640
減価償却累計額	△2,767,193	△2,923,450
機械装置及び運搬具（純額）	575,422	554,189
工具、器具及び備品	4,301,832	4,398,042
減価償却累計額	△4,129,695	△4,214,776
工具、器具及び備品（純額）	172,137	183,266
土地	1,247,215	1,251,601
リース資産	686,869	712,791
減価償却累計額	△276,059	△349,779
リース資産（純額）	410,810	363,011
建設仮勘定	48,774	40,569
有形固定資産合計	3,277,026	3,247,709
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	410,284	526,937
長期貸付金	874	679
繰延税金資産	111,579	104,701
その他	289,122	294,612
貸倒引当金	△911	△4,272
投資その他の資産合計	810,948	922,658
固定資産合計	4,239,663	4,310,934
資産合計	20,140,623	20,372,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,459,357	2,458,458
短期借入金	1,429,355	1,651,249
1年内返済予定の長期借入金	596,132	734,736
1年内償還予定の社債	970,000	170,000
リース債務	136,485	139,443
未払金	883,799	810,897
未払費用	534,988	449,950
未払法人税等	379,025	52,545
資産除去債務	727	744
その他	73,575	124,630
流動負債合計	7,463,447	6,592,656
固定負債		
社債	260,000	175,000
長期借入金	1,339,503	2,116,700
長期リース債務	286,214	233,738
退職給付引当金	605,211	599,346
役員退職慰労引当金	225,625	229,094
資産除去債務	114,406	116,016
その他	110,280	124,648
固定負債合計	2,941,241	3,594,545
負債合計	10,404,688	10,187,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,170,000	1,170,000
資本剰余金	1,370,402	1,391,120
利益剰余金	7,460,860	7,593,804
自己株式	△428,022	△398,788
株主資本合計	9,573,240	9,756,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,124	165,669
繰延ヘッジ損益	218,458	346,423
為替換算調整勘定	△146,070	△52,385
在外子会社の退職給付債務調整額	△51,442	△61,422
その他の包括利益累計額合計	134,069	398,284
少数株主持分	28,624	30,533
純資産合計	9,735,934	10,184,955
負債純資産合計	20,140,623	20,372,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	16,097,411	17,038,776
売上原価	9,138,862	9,891,261
売上総利益	6,958,548	7,147,514
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,245,946	1,350,228
広告宣伝費	402,192	373,466
販売促進費	348,028	333,138
貸倒引当金繰入額	—	81,431
役員報酬	89,542	91,828
従業員給料及び手当	1,777,006	1,811,752
従業員賞与	436,184	434,810
退職給付費用	95,883	67,262
役員退職慰労引当金繰入額	17,600	16,268
福利厚生費	473,666	480,303
減価償却費	186,999	201,230
賃借料	275,009	290,660
旅費及び交通費	287,936	296,634
研究開発費	30,922	30,195
その他	680,039	754,726
販売費及び一般管理費合計	6,346,957	6,613,937
営業利益	611,591	533,576
営業外収益		
受取利息	2,207	2,822
受取配当金	8,781	9,571
仕入割引	6,338	6,048
書籍販売収入	8,844	5,391
スクラップ売却益	10,906	14,669
為替差益	10,971	19,149
その他	24,215	11,758
営業外収益合計	72,264	69,411
営業外費用		
支払利息	30,479	44,556
社債利息	18,963	6,157
売上割引	8,672	8,920
書籍販売原価	20,911	17,646
その他	9,998	6,708
営業外費用合計	89,025	83,989
経常利益	594,830	518,999

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1,843	515
特別利益合計	1,843	515
特別損失		
固定資産売却損	1,704	123
固定資産除却損	3,096	662
減損損失	19,896	2,086
特別損失合計	24,697	2,872
税金等調整前四半期純利益	571,975	516,642
法人税、住民税及び事業税	272,697	212,692
法人税等調整額	16,260	67,078
法人税等合計	288,958	279,770
少数株主損益調整前四半期純利益	283,017	236,872
少数株主損失(△)	△62	△105
四半期純利益	283,080	236,977

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	283,017	236,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,371	52,545
繰延ヘッジ損益	119,891	127,965
為替換算調整勘定	3,510	95,888
在外子会社の退職給付債務調整額	△8,302	△10,170
その他の包括利益合計	128,471	266,229
四半期包括利益	411,488	503,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	411,568	501,192
少数株主に係る四半期包括利益	△79	1,908

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年11月13日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年12月2日までに、第三者割当による自己株式の処分を行いました。この自己株式の処分並びに単元未満株式の買取りにより当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が20,718千円増加、自己株式が29,233千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,391,120千円、自己株式が398,788千円となりました。